

2020年度 長野県立大学 開設講習一覧

(A)必修領域

講習番号	講習の名称	対象者	講習の概要	担当講師	時間数	評価方法	開講日	受講料	定員
A01	教育の最新事情	幼稚園教諭 栄養教諭	教育の最新事情について、近年の学校や子どもをめぐる状況をふまえながら、教育学及び心理学の最新の成果、並びに最近の教育改革の動向について解説する。具体的には、国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観、教育観等についての省察、子どもの発達に関する最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題について講義する。	荒井 聡史(健康発達学部教授) 木山 徹哉(健康発達学部教授) 前田 泰弘(健康発達学部教授) 加藤 孝士(健康発達学部准教授)	6時間	筆記試験	11月14日	6,000円	60人

(B) 選択必修領域

講習番号	講習の名称	対象者	講習の概要	担当講師	時間数	評価方法	開講日	受講料	定員
B01	保育の場で求められる保護者支援とは	幼稚園教諭	近年、子どもを取り巻く環境は多くの難しさを抱えている。そのような中、現在保育現場では子どもの保育のみならず、家庭との連携・協働が強く求められている。しかし一方で、保育者(幼稚園教諭)と保護者の間で信頼関係を構築することが困難なケースも多く存在する。こうした現代的課題を踏まえ本講義では、今、保育現場に求められる家庭支援の意義を押しさえるとともに、より具体的に保育者(幼稚園教諭)と保護者の良好な関係性の構築に寄与する要因や、保護者支援を効果的に行うためのアプローチのあり方を考察していく。	中山 智哉(健康発達学部准教授) 金山 美和子(健康発達学部准教授)	6時間	筆記試験	12月19日	6,000円	40人

(C)選択領域

講習番号	講習の名称	対象者	講習の概要	担当講師	時間数	評価方法	開講日	受講料	定員
C01	子どもの想像力・感性を育む表現活動をどう展開するか	幼稚園教諭	保育現場における表現指導の質を高めることを目指して、子どもの想像力や感性を育む表現活動の展開に焦点を当てて、体験的な学びの機会を提供します。第1部では、劇表現をテーマとした参加者自身が声や身体を使うウォームアップ活動を体験します。第2部では、保育者が主体的に展開する劇遊びに焦点を当て実践映像の視聴も交えて、グループで議論します。第3部では、演劇創作活動の楽しさや面白さを体験的に共有します。	山本 直樹(健康発達学部准教授)	6時間	筆記試験	11月7日	6,000円	40人
C02	領域「言葉」の基本的考え方や保育者の表現方法	幼稚園教諭	本講習では、領域「言葉」の改訂の基本的な考え方や、ことばを獲得していく道筋とつまずきなどを確認しながら、いくつかの課題に取り組む中で、専門職としての言葉に対する感覚や言葉で表現する方法について検討していきます。講習の後半では、ICTを活用した保育教材の作成方法について学ぶとともに、実際に作成し発表も行います。	渡邊 望(健康発達学部准教授)	6時間	筆記試験	11月1日	6,000円	40人
C03	自分で考え話せる子どもを育てる	幼稚園教諭	本講座では、子どもが他者との関係をどのように作っていくか、またその関係の中で道徳をどのように身につけていくか、についてまず考えます。その際鍵となるのが、子どもが自分で考え話せることであり、その効果的な支援方法の一つが「子どもの哲学」です。これらのことを理解した上で、本講座では、実際の〈保護者―教師―子ども〉のコミュニケーション場面を想定しながら、子どもが自分で考え話すことを支援する環境づくりや方法について体験的に学びます。	寺川 直樹(健康発達学部助教)	6時間	筆記試験	11月7日	6,000円	40人
C04	遊びを通して育つ力と保育	幼稚園教諭	本講座では、幼児期の発達をふまえ、遊びと生活を通して育つ力と学びの内容について考える。また、遊びを通しての豊かな学びを支えるために、どのような環境や遊び、保育者の支えが求められるかを演習や教材研究を通して学ぶ。	太田 光洋(健康発達学部教授)	6時間	筆記試験	12月5日	6,000円	40人
C05	コードワーク・音の絵本づくり	幼稚園教諭	講習の前半は基本的な記譜法など、今さら人には聞きにくい楽譜の書き方やルールを振り返りながら、基礎的なコードワーク、移調まで実践を行う。後半は絵本の場面に合った音楽や効果音を創作する実践を行う。音や音楽を伴うことで絵本の世界が立体的に変化し、子どもたちの想像力を育む活動を体験する。	大南 匠(健康発達学部教授) 安氏 洋子(健康発達学部准教授)	6時間	実技考査	11月1日	6,000円	20人

C06	幼児教育と野外環境	幼稚園教諭	幼児教育は環境を通して実践されるものである。本講習では、環境の中でもとりわけ野外(自然)に注目し、それを幼児教育に取り入れる意義を理解する。また、野外での活動が子どもの育ちに与える効果を概観した上で、それを実践に導入するために、活動の組み立て方、保育者のかかわり方、評価の視点等を理解する。まとめとして、グループワークを通して具体的な指導計画を考える。	小笠原 明子(健康発達学部講師)	6時間	筆記試験	11月1日	6,000円	40人
C07	からだから考える表現と関わり	幼稚園教諭	表現力やコミュニケーション力の育成が求められています。本講座では、からだどころ、またその関係についてワークと講義を通して学びます。自己の体感に基づき、表現や関わりにおけるからだの機能や役割について改めて考えることで、日々の保育や生活における身体表現の展開と意義について理解を広げます。	白澤 舞(健康発達学部講師)	6時間	筆記試験	11月21日	6,000円	25人
C08	行動変容技法の基礎:行動分析学を学ぶ	幼稚園教諭	本講習では、アメリカの心理学者スキナー(Skinner, B. F. 1904-1990)を創始者とする行動分析学(Behavior Analysis)の理論と技法を学ぶ。行動分析学は学習心理学の一体系であるが、その理論と技法を学ぶことで、幼児と保育者の行動を客観的に観察できる目を養うとともに、これまでの保育・幼児教育に欠けていた視点を身につけることができる。	藤田 勉(健康発達学部教授)	6時間	筆記試験	11月7日	7,000円	30人
C09	いまさら聞けない!? 描画材の基礎知識	幼稚園教諭	「クレヨンとクレパスって同じじゃないの?」、「ポスターカラーとアクリル絵の具の違いはなに?」、「ボディペイント用の絵の具があるの?」。こどもの造形表現を支える描画材の特性について、意外と知らないことが多いのではないのでしょうか。本講習では、すでに一般化している描画材の基礎知識や、新たに開発されたこども向けの描画材の特性について、講義と活動をとおして学んでいきます。	宮城 正作(健康発達学部講師)	6時間	筆記試験	11月21日	6,000円	20人
C10	給食の時間の指導に味覚教育を活かす	栄養教諭	味覚教育は、ジャック・ピュイゼ(仏)により提唱された教育方法である。給食の時間は、地産地消や栄養バランス、食事のマナーの指導等に偏りがちである。そこで、本講義(ロールプレイやディスカッション等を含む)では、食べ物と向き合い、それを五感で受け止めて言葉で表現するとは、どのようなことが体感し、栄養教諭として、子どもたちが食を楽しめるような給食の時間を創造できる資質や能力を涵養することを目的とする。	笠原 賀子(健康発達学部教授)	6時間	筆記試験	12月5日	6,000円	40人
C11	諸外国の学校給食と食育から学ぶ	栄養教諭	本講座では、比較資料として諸外国の学校給食や食育の事例を紹介し、グループワークでの発表や意見交換を通して、世界の多様な食文化とその背景にあるもの見方・考え方について理解を深め、多文化共生時代に必要な食に関する基礎的な知識を身につける。さらに、諸外国との比較を通して日本の食文化の特徴や「和食」と健康の関係についての理解を深める。	中澤 弥子(健康発達学部教授)	6時間	筆記試験	12月19日	6,000円	40人